

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市夜間診療所運営委員会
開 催 日 時	平成 29年 9 月 26 日 (火) 午後 1 時 00 分 開会・午後 1 時 50 分 閉会
開 催 場 所	健康福祉センター 203会議室
議 長 氏 名	寺師 良樹
出席委員(者)氏名	寺師 良樹 (医師会副会長) 中里 明彦 (医師会会員) 細谷 雄治 (医師会副会長) 友山 宏一 (副市長) 尾上 昌弘 (医師会理事) 晝間 昭彦 (健康推進部長)
欠席委員(者)氏名	川南 勝彦 (狭山保健所長)
説明者の職氏名	健康福祉センター所長 瀧澤 雅美 健康管理課 課長 宮岡 久 健康管理課 主幹 吉田 智博
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 委嘱状交付 3 副市長あいさつ 4 会長の選出・あいさつ 5 副会長の選出・あいさつ 6 議事 (1) 平成27・28年度夜間診療所利用状況について (2) 使用する薬剤について (3) その他 7 閉会
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	次第 運営委員会名簿 夜間診療所利用状況について(資料1) 使用する薬剤について(資料2)
事務局職員職氏名	健康福祉センター所長 瀧澤 雅美 健康管理課長 宮岡 久 健康管理課主幹 吉田 智博 健康管理課副主幹 田雑 薫 健康管理課主事補 橋本 翔太
会議録作成方法	要点筆記

会議録 (2)

議事の概要 (経過) ・ 決定事項

1 議事

(1) 入間市夜間診療所利用状況について

- ・平成15年度から平成28年度までの夜間診療所の利用状況について報告。
- ・土日の19時から20時台の受診が多かったことを説明。
- ・平成27・28年度の傷病の上位は、急性上気道炎・インフルエンザの疑い・急性気管支炎。
- ・医療機関へ紹介をした人数は、平成27年度は24人、平成28年度は25人と報告。
- ・平成21年度は受診者3, 223人中28人を医療機関へ紹介したが、平成28年度は受診者1741人中25人を紹介している事から、本当に必要な患者が来所していると説明。

(2) 使用する薬剤について

- ・平成26年度から平成28年度の使用数を提示・説明し、平成28年度に使用しなかった薬剤、及び使用頻度の少ない薬剤を今後どうするかを検討をしていただいた。

下記のとおり薬剤の取扱が変更となった。

使用期限をもって取扱を終了する薬剤

エポセリン坐剤 (125mg/個)

エンペシドクリーム (10g/本)

ガランターゼ散

ブスコパン (アンプル)

ポララミン (アンプル)

ホスミシンDs

ホスミシン錠

テオドール錠

使用期限をもって取扱を変更する薬剤

アダラートL錠 (10mg/T) →ニフェジピンCap

(3) その他

(小児2次救急について)

- ・小児2次救急は第2、第5日曜日の昼及び日曜日夜間が埋まっていないと説明。
- ・先般、小児科救急輪番制病院の会議が開かれ、石心会病院が11月1日にオープンする。県と保健所が担当してもらえる様に話をすると説明があったと報告。

本日の会議録への署名は細谷委員とする。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
宮岡課長	<p>議事に移る前に本日のお配りしました資料について確認をお願いいたします。次第と、委員名簿、資料1として3枚、夜間診療所利用状況について、資料2使用する薬剤についてとして2枚でございます。以上でございます。</p> <p>それでは、入間市夜間診療所条例第14条第1項の規定で会長が会議の議長となる旨が決まっております。寺師会長に議長として議事の進行をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
寺師会長	<p>それでは議長をつとめさせていただきます。</p> <p>委員皆様のご協力をいただき会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。</p> <p>本日の出席委員は6人です。欠席の届け出は川南委員から提出されています。よって入間市夜間診療所条例第14条第2項の規定に基づき、委員の半数以上が出席されておりますので、会議は成立いたします。</p> <p>また、会議の傍聴については市役所市政情報コーナー、各支所の掲示板、及び市公式ホームページで周知しましたが、傍聴希望者はおりませんでした。</p> <p>それでは、本日の会議の会議録の署名をいただく委員を示させていただきます。名簿順ということで本日の会議録の署名をいただく委員は細谷委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速議事に入ります。まず「(1)平成27・28年度夜間診療所の利用状況について」を議題といたします。事務局からの報告を求めます。よろしくお願いいたします。</p>
吉田主幹	<p>資料1の入間市夜間診療所利用状況についてをご覧いただきたいと思います。初期救急医療体制につきましては先ほど副市長の方からもお話がありましたが、入間市が日、月、木、土の週4日、狭山市が火、水、金の週3日を担当しまして1週間を通しての体制が整備されているところでございます。</p> <p>夜間診療所の利用状況ですが、資料に一覧表がありますが平成15年の開所以来平成28年度までに、延べ23,330の方が利用されています。うち16,645人が入間市民ということでございます。</p> <p>各年度の利用者数ですが平成21年度の3,223人をピークといたしまして利用者の方は減少に転じているような状況でございます。</p> <p>平成27・28年度は1,750人弱に落ち着いてというところでございます。平成27・28年度の利用状況というところでは特に大きな変化はございませんでした。</p> <p>次に、平成27・28年度夜間診療所の実績報告でございますが、各項目における状況の曜日別の受診者数でございます。平成27・28年度ともに土曜日・日曜日の受診者の方が多く500人を超えているような状況でございます。</p>

	<p>す。</p> <p>また、1日あたりでは月曜日・木曜日というところは6人余りの受診者に対して、土曜日・日曜日は10人を超えているところでございます。</p> <p>年代別の状況でございますが、平成27・28年度ともに1,750人弱余りの受診者の方がいらっしゃるわけですが、その70%余りを0から15歳のお子さんが占めています。そのお子さんの中でも0から5歳の乳幼児が全体の40%を占めているという利用状況でございます。</p> <p>また、受診者の住所地ですが入間市民と狭山市民で95%を占めており、残りの5%をお隣の所沢市、飯能市、またその他の市町村の方が利用しているという状況でございます。</p> <p>次に月別の受診者数でございますが、その傾向としては、これから始まるインフルエンザの流行期である1月・2月・3月の受診者数が多くなっております。またその利用時間帯としては夜間診療所が始まる19時台をピークとして、時間が遅くなるにつれてその利用者数は減少しているというような状況でございます。</p> <p>資料には特にありませんが、夜間診療所を受診した方の傷病別の内訳を見ますと平成27・28年度ともに急性上気道、インフルエンザの疑い、急性気管支炎の患者数が上位の3つを占めているような状況でありました。平成27年度と比較して平成28年度でございますが、急性上気道炎の人数については大きな変化はございませんでした。</p> <p>インフルエンザの疑い、急性気管支炎につきましては平成28年度は平成27年度と比較して40人～50余り増加しているような状況でございました。</p> <p>またインフルエンザについても平成28年度は平成27年度比で50人余り増加しておりました。</p> <p>なお、夜間診療所を受診し、病状等により医療機関へ紹介した人数でございますが、平成27年度が24名、平成28年度が25名という人数であり大きな差はありませんでした。以上が夜間診療所の利用状況です。</p>
<p>寺師会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>只今事務局から夜間診療所について報告がありましたが、何かご質問がありましたらお願いします。</p>
<p>細谷委員</p>	<p>資料1の1ページ目ですが平成21年度は患者の人数が3,223名で、それをピークにだんだんと減ってきています。平成27年度は1,746名、平成28年度は1,741名です。平成28年度が25名で、平成27年度が24名と紹介患者の方は減っていません。患者の数は減っているが、紹介患者の数が変わらないということは本当に必要な人が来ているということになります。</p> <p>また、夜間診療で難渋したケースとかはありますか。</p>
<p>寺師会長</p>	<p>経験のある方はいらっしゃいますか。</p>

宮岡課長	<p>紹介患者につきましては、担当の先生方のご判断で、最悪の場合救急車もしくは2次救急と連絡をとりましてご家族の方には病院に向かってもらうという対応をとらせていただいております。</p> <p>特段私共の方には記録として、紹介をして相手の機関から連絡がある場合もあります。突発性の急を要するような患者の方はあまりお見受けできず、大抵の場合ご家族の方がその場で連絡を取って病院へ行っていただいておりますので、特段診療所でその場で救急救命の対応をとるよう事例はほとんどありません。</p>
細谷委員	<p>話をお伺いして安心しました。</p> <p>求められている患者さんがおられるということで今後も何もトラブルのない運営ができればいいなと思います。以上です。</p>
寺師会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>比較的重症な患者さんを医者が判断して紹介するということですが、今の体制でいっても日曜日の夜間帯がちょっと手薄ではありますが、これから次第に埋まっていくと思いますので、皆様にはその方向で努力してほしいなと思います。</p> <p>この医療状況の点につきまして、他に何かご質問はありますか。</p> <p>次に「(2) 使用する薬剤について」を議題といたします。まず事務局からの説明を求めます。</p>
宮岡課長	<p>資料2をお願いいたします。</p> <p>夜間診療所で使用する薬剤につきましては、当委員会で決定するということになっています。過去3年間の利用状況から使用が少ない薬が見受けられており、その様な薬について、担当する先生からもご提案をいただきまして今回提案させていただきました。事務局の方で原案を作成いたしまして、次のページの右側に「○」がついている薬につきましては、現在の使用期限をもって新規購入はせず廃棄という方向で検討していきたいと考えております。また右側に「▽」がある薬につきましては、過去3年使用状況を見る限り特にアンプル剤が多く、錠剤等がありますのでほとんど使用されていない部分があると思いますが、その点についてはまたご協議いただけたらと思います。</p> <p>また1番下にあります「-」の薬につきましては欠品もしくはO157の関係で急遽購入しておいた薬がここで使用期限が切れますもので、この薬につきましても使用期限が切れた段階で新たに購入はしないという形で考えております。その点につきましてご協議のほどをお願いできればと思います。</p>
寺師会長	<p>只今、使用する薬剤について説明がありましたが、委員の皆様、何かご意見ありますでしょうか。</p>

細谷委員	<p>ボスミンの使用量が少ないわけですが、例えばアナフィラキシーショックは減多にありませんが、アナフィラキシーショックの場合の第1選択薬がボスミンになると思います。使わないで捨てることが多いのですが、私はお守りとして準備しているのですが、皆さまいかがでしょうか。</p>
尾上委員	<p>私も同意見です。 ボスミンは仰られるように廃棄してしまうことが多いですが、入れておいた方がいいと思います。</p>
寺師会長	<p>ボスミンに関しては入れておいてください。 ボスミンは使用頻度は少ないが続けるということでもよろしいでしょうか。 他の薬はどうでしょうか。例えばアダラートL錠です。</p>
尾上委員	<p>アダラートL錠は使用頻度が低いのですが、高血圧と狭心症の時があるので、内科の先生方からご要望があったものです。</p>
細谷委員	<p>アダラートL錠は中は液ではないですよ。むしろ緊急に血圧を下げるのであれば、中が液体であるカプセルの方がいいと思います。</p>
尾上委員	<p>私の意見としては必要ないですね。</p>
細谷委員	<p>置かれるのであればカプセルですね。 カプセルがほしいです。早く血圧が下がります。</p>
寺師会長	<p>アダラートL錠ではなく、使用期限が切れたらアダラートのジェネリックのカプセルに変えてください。 あとエポセリン座薬ですが、</p>
尾上委員	<p>私も実際使用したことないですし、もういらないかと思います。</p>
細谷委員	<p>無理して使う必要もないですね</p>
尾上委員	<p>なしにしてください。</p>
寺師会長	<p>エポセリンはなしにしてください エンペシドクリームですが。</p>
尾上委員	<p>これは私はいらないと思います。</p>
中里委員	<p>エポセリンはいらないですね。</p>

	強ミノはじんま疹の人に時々使います。
寺師会長	順番にいきますとエンペシドクリームはいらないですね。 あとはガランターゼですね。
尾上委員	最初の頃は私がよく使っていましたが、最近は使わなくなりました。 一般外来ではよく使いますが、夜間診療所で必要性がありますか。 私はなしでいいと思います。
寺師会長	では、ガランターゼもなしにしてください。 強ミノですけれども、「▽」になっていますけれどもあった方がいいと思います。 強ミノは入れておいてください。
尾上委員	強ミノはジェネリックでない先発品のものを入れておいてください。
寺師会長	それからブスコパンの注射ですがいかがですか。
尾上委員	使用頻度は多くはないですね。 ブスコパン錠は結構でていますが。
細谷委員	注射の方はいららないと思います。
寺師会長	ブスコパンは廃止の方向でお願いします。 ポスミンは必要です。 ポララミンについてですが、いかがでしょうか。
細谷委員	ポララミンはシロップもドライシロップも錠剤もありますよね。 ポララミンの注射は必要ないと思いますが、どうですか。
尾上委員	注射は私は使ったことないからいらないです。
寺師会長	ポララミンもなしにしてください。 ホスミンですが、以前O157が流行った時に緊急で入れたものです。
尾上委員	期限切れですか。
宮岡課長	はい。
尾上委員	新規には入れなくていいです。

寺師会長	<p>ホスミシンのドライシロップも錠剤も期限までとしてください。 それからテオドールについてですが、いかがですか。</p>
宮岡課長	<p>テオドールはテオロングが欠品で薬が入らなかった時の代用品として入れたものがここで期限が切れます。</p>
尾上委員	<p>テオロングはまだありますか。</p>
宮岡課長	<p>テオロングはあります。</p>
寺師会長	<p>テオドール錠はいらないですね。 他に何かご意見ありますか。あるいは入れた方がいい薬。</p>
細谷委員	<p>最近レセプトの審査がものすごく厳しくなっているような印象があるのですが、夜間診療所はどうなっていますか。</p>
宮岡課長	<p>特段そういった指摘は受けておりません。 請求通りすべて来ています。</p>
寺師会長	<p>それでは薬剤についてはよろしいと思いますので、今の確認をお願いします。</p>
宮岡課長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。 確認ということで1枚目の資料に基づきまして確認させていただきます。 1番上のアダラートL錠はジェネリックのカプセルにして常備する。 エンペシドクリーム、ガランターゼ散は不要で、使用期限が切れた段階で破棄。今後、新規購入はしない。 エポセリン座薬これも使用期限が切れた段階で新規購入はしない。 強ミノについてはジェネリックではない強ミノ、1番最初の薬を常備する。 ブスコパンのアンブルも使用期限が切れた段階で新規購入はしない。 ポスミンのアンブルは常備をする。 ポララミンのアンブルは使用期限が切れた段階で新規購入はしない。 テオドールとホスミシンも一緒に使用期限が切れた段階で新規購入はしない。 ということでよろしいでしょうか。 これにつきましては使用期限がいつまで使えるということを明記して、それ以降、新規購入はしないという旨を診療所の方に貼らせていただきまして、先生方に周知をしたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。ありがとうございました。</p>
寺師会長	<p>よろしくをお願いします。 それでは、本日予定されておりました議事はこれですべて終了しましたが</p>

<p>宮岡課長</p>	<p>「(3) その他」として事務局から何かありますか。</p> <p>小児2次救急、先ほど寺師会長の方からもお話がありました、その関係の動向につきまして情報提供という形でさせていただきたいと思えます。</p> <p>小児2次救急につきましては第2と第5日曜日の昼間及び日曜日の夜間がすべて、受けていただける病院がない状況です。</p> <p>先般も狭山市役所が中心になり小児2次救急の担当者会議を開催させていただきました、私共も出席させていただいたわけですが、その中で埼玉石心会病院が11月1日新病院をオープン予定との情報提示がございました。それに合わせて県の医療整備課、及び狭山保健所も小児2次救急の空白日を担当していただけないかと話を持って行っていただきたいという報告を受けております。</p> <p>なかなか小児科医師の雇用の方が非常に難しい状況ということですが、保健所並びに県と協議していただいて、できれば早々に小児2次救急、特に日曜の夜間等が早く埋まっていたらと、日曜日の夜間診療は入間市が当番でございますので、夜間2次救急を紹介できる病院がない状況ですので、その辺入間市からも保健所に強くお願いしております、一応情報提供ということでその動向をご承知いただけたらと思えます。</p>
<p>寺師会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>早く夜間帯担当の病院が決まればと思えます。我々も努力してまいります。</p> <p>他に何かありますか。</p> <p>それでは本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。</p> <p>他に委員さんから意見はないようですので、これで議長をおろさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
<p>宮岡課長</p>	<p>寺師会長大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、入間市夜間診療所運営員会を終了いたします。</p> <p>先生方の貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。</p>
<p>全員</p>	<p>ありがとうございました。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 29年 10月 2 日

議 長 の 署 名 寺 郎 良 樹

議長が指名した者の署名 細 谷 雄 治